

指導教員名	岡田 恵実
-------	-------

活動区分	商品開発型	連携先	企業

～ 使用済企業ユニフォームを「リビルド」した新製品アイデア提案 ～

活動の様子



キックオフミーティングの様子



実際に素材や製品に触れてアイデアを考える

企画・活動概要

一定期間使用後は廃棄処分されてしまう企業ユニフォームを「リビルド(再利用・燃やさないリサイクル)」してできた反毛やプラスチックを混ぜた樹脂ベレットを活用した、環境にやさしい／環境配慮を発信できる製品アイデアを検討、提案し、製品化をめざす。

経緯・背景・目的

流通科学大学を卒業した井川克俊氏が立ち上げた株式会社Problem Solving、株式会社リビルドットは、自社が制作した使用済企業ユニフォームを使用して、反毛というリサイクル技術を使ってノートPC・タブレット兼用防災頭巾を製作したり、リサイクル素材でワークボックスを製作したりしている。当社としては、このような「リビルド」の取り組みを広げていきたいと考えていることから、大学生の新鮮な目線で何か新しい製品企画ができないかという要望があった。



一人ひとりが考えた商品アイデアをプレゼンテーション

取り組む課題

企業ユニフォームは数年で交換となるため、通常であれば処分されることとなる。実際、廃棄衣類のうちリサイクルされているのはわずか20%、残りの80%は焼却処分されている。そもそも衣料は環境負荷が高いこともあり、少しでも環境に役立つ取り組みを行うことは重要である。衣類を燃やしてリサイクルすることも一手段であるが、燃やさずに再利用することでCo2削減も実現する取り組み(＝リビルド)を目指す。

本学(学生)の役割

「リビルド」の取り組みを広げるべく、学生たちが株式会社Problem Solvingが製作、企業が使用後回収したユニフォームを使用した反毛、あるいは使用済ユニフォームにプラスチックを混ぜた樹脂ベレットを活用した製品アイデアを考える。考える製品は、環境に役立つ新たなものを生み出すという観点から、「服から服にはしない」「何らかの形で広義の環境の役に立つ」ものとする。



すべての商品アイデアに対して井川社長からフィードバック

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2024年10月末にキックオフミーティングを実施。素材や製品を確認しながら、井川氏に積極的に質問し、理解を深めた。その後もリサイクル素材を製造する企業担当者へのヒアリング、中間ブラッシュアップ会を経て、2025年1月に全員が最終製品提案プレゼンテーションを行った。その中から3つのアイデアについて、製品化の可能性について井川氏に検討いただくこととなった。実際に製品を開発する際に必要となる主な要素について学生自身が考え、相手に理解してもらえるように提案、それに対し詳細なフィードバックをもらうという経験を通じ、主体性や創造力を身に着けたと考える。



ゼミ生全員が商品アイデアを提案！

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
経営学科
講師
岡田 恵実(オカダ エミ)

<専門・担当科目等>
教養特講Ⅰ(起業家を知る)、教養特講Ⅱ(起業・事業承継)、中小企業論、ビジネスプラン論 等

岡田恵実ゼミナール(通称・だえみゼミ)は、起業やプロジェクトを切り口に学生ひとりひとりが自分の人生を自分でつくり、未来に向けて行動することを目指しています。自分自身の思いに基づいたマイプロジェクトや社会共創活動の実践を積極的に行っています。

<関係者・企業等>

株式会社Problem Solving、
株式会社リビルドット
代表取締役
井川 克俊(イカワ カツシ)